

令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	37	学校名	静岡西高等学校	記載者	松場 勉
------	----	-----	---------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	自己肯定感の涵養	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分は価値ある人間である」と答える 生徒 80%以上 ・「西高 Spirit を意識して学校生活を送っている」と答える生徒 80%以上 ・「西高の先生は、授業中によく褒め励ましてくれる」と答える生徒 70%以上 ・「学校生活が充実していると感じている」生徒 80%以上 	A	A	<p>特に学校が基本姿勢として西高の教育目標である「Spirit」を「意識して学校生活を送っている」と答えている生徒は 100%で、当校の教育目標を全員が理解していることは、学校側の指導・取り組みに大いに感謝申し上げます。このようなことから、「生徒たちの価値ある人間」、さらに連動して「学校生活が充実している」ことがうかがわれます。今後もさらに、この取り組みの強化をぜひとも推進していただきたいと思います。</p> <p>それぞれの目標値を達成されていることは、本当に高く評価できること。「西高 Spirit の意識の高さ（100%）」は驚きの数字です。</p> <p>生徒さんの自己肯定感の低さを課題とされていますが、「西高 spirit」が定着しているので、もう少しだけ時間をかけた成長を期待してもよいのでは。</p> <p>目標値の数値を上回っているためA評価とした。ほめて伸ばす方針が定着し、学校、生徒、保護者が共有できているところに効果があると思われる。今後、コミュニケーション力をどう育てていくかが問われると感じる。</p> <p>西高 spirit を大切に生活できているのはとても価値のあることだと思う。居場所として生活できていれば自</p>

					己肯定感も高まっていく。校内に明るい雰囲気がある。会話も多いのだと思う。自分の価値を他人の尺度でなく、自分の尺度で自信を持って進んでいける力を育てたい。少人数だからこそその良さ、密なかかわりもできている西高の良さだと感じる。
イ	基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・「規律ある学校生活を送っている」と答える生徒、保護者 90%以上 ・「あいさつができてい」と答える生徒、保護者 90%以上 ・欠席者数のべ在籍人数 × 3 回以内 ・遅刻者数のべ在籍人数 × 4 回以内 	A	A	<p>「規律ある学校生活を送っている」「あいさつができてい」とは、コミュニケーションのきっかけを作ることで、人間関係を円滑にするとされていますので、西高の生徒たちが意識して、学校生活を送っていることのあらわれで目標値を高く上回り大いに評価するものであります。また、朝の継続した指導が「欠席者、遅刻者数」の減少につながっていること。今後も継続的な取り組みをお願いします。</p> <p>本当に良い成果だと思います。</p> <p>目標設定の数値を上回っているため A 評価とした。ルール、マナーの意義、必要性について個々が理解し、自覚することで、その生徒が他者方高い評価を受けることを知る学ぶ機会があるとよい。</p> <p>毎日時間を守って登校し、生活を展開させていくこと。学校に来たら自分のすべきことがわかり、積極的に取り組むこと（学習、部活等）充実して高校生活が送れていれば、充実した社会人になっていくはずだと思う。明るくあいさつする姿が見られ、気持ちがよい。</p>

ウ	社会的規範意識の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「相手を思いやる発言や行動をしている」と答える生徒 90%以上 ・「校則や交通ルールなど社会のきまりを守っている」と答える生徒 90%以上 ・重大な交通事故ゼロ 	A	<p>生徒から、目標値を超える回答を得ていることから、「相手を思いやる行動」や「校則や交通ルール」を守り、社会の「マナーを自覚して」通学していることは、生徒自身の自覚の現れと大いに評価するものであります。ただし、交通事故については、一瞬の緩みが重大事故につながる恐れがありますので、さらなる継続的な啓発をお願いします。</p> <p>本当に良い成果だと思います。</p> <p>目標設定の数値を上回っているためA評価とした。今の状況を維持・継続できるよう何らかの手立てを講じたい。</p> <p>相手を思いやることができるためには、自身の学校生活が安定していなければならない。90%をこえて達成しているのはすごいこと。成人直前の高校生活でだめなことはだめを学ぶ意識のための最後の教育機会だと思う。</p>
エ	基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの基礎診断において、学力の向上が見られた生徒 60%以上 ・「西高で学力を伸ばすことができる」と答える生徒、保護者 80%以上 ・「勉強を頑張っている」と答える生徒 70%以上 ・家庭学習時間を週7時間以上取り組んでいる生徒 50%以上 	A	<p>将来に向けて「学力を伸ばすことができる」という成果目標は大変重要なものと考えています。その中で、生徒・保護者間での実感の差は当然なことと私なりに考えています。すなわち、生徒の学力基礎の考え方ではないかと思っています。前年度と比較すると、生徒は前年より今年度のほうがいずれの項目においても目標値を上回っています。このようなことから、生徒たちの学問に対する姿勢は非常に良いと思います。また、家庭学習時間の姿勢も、前年度より大幅な改善がうかがわれます。さらなる向上をめざして、保護者との協力体制を得ながら家庭での勉強に対する指導を引</p>

				<p>き続きお願いいたします。</p> <p>生徒、保護者の実感の差が R6 と R7 で有意なのか気になりますが、全体的に良い成果だと思えます。生徒さんの家庭学習の時間の増加が保護者さんの視界外となっているのかもしれませんが。</p> <p>目標設定の数値を上回っているため A 評価とした。学力は積み上げが大切なため即効性はあまり期待できない。家庭学習の増時間が動機づけにつながるようセルフモニタリング等の方法で視覚化することも一案と考える。</p> <p>授業の様子を見せていただき、先生の教えることへの情熱と少人数で進めていく姿がとても良いと思った。A I の導入など学習の方法や取り組みに大きな変化が起きている。だからこそ、基礎基本の学力はきちんと身に付けてほしいと思う。学力定着は高校生の最もすべきことですね。</p>
<p>オ</p>	<p>基本的生活習慣の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月例の職員研修（10 分研修）の実施 ・「みらプロ」の授業に自ら取り組む生徒 80%以上 ・言語活動の充実、主体的・対話的で深い学びを実践している教員 80%以上 ・「学校行事に積極的に取り組んでいる」と答える生徒、保護者 90%以上 ・「部活動に意欲的に取り組んでいる」と答える生徒、保護者 80%以上 ・「行きたい学校づくり」推進事業の指標実現 	<p>A</p>	<p>日ごろからの先生方の創意工夫により全体的に充実した学びにつながっていることに大いに感謝申し上げます。また、「みらプロの授業」取組み、さらに「学校行事に積極的に取り組んでいる」生徒の考え方に若干の相違はあるものの、保護者の目標値も高く、さらに「部活動に意欲的に取り組んでいる」姿勢も目標値を上回り、生徒の向上心につながっているため、継続的な取組をお願いします。</p> <p>本当に良い成果だと思えます。</p> <p>目標設定の数値を上回っているため A 評価とした。キャリアパスポートについては、小学生から取り組んでい</p>

					<p>る「生き方」を考えるうえで身近な友人、教員からの影響も大きいと思われる。授業について深く広く考える機会を多く持てる雰囲気ができつつあるように感じる。</p> <p>学校だからできること、できないことを体験的に学び取ってほしい。部活や学校行事に意欲的に取り組む姿は、西高生として誇らしい姿だと感じる。主体的、対話的学びはこれからの社会の中でより重要視されていくと思う。先生方の工夫や苦勞に頭が下がる。</p>
カ	<p>社会の役に立とうとする心の醸成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の将来の生き方について具体的に考えている」と答える生徒 80%以上 ・「学校は社会の役に立とうとする姿勢を育てている」と答える生徒 80%以上 ・「進路選択に関する情報が適切に提供されている」と答える生徒、保護者 80% 以上 ・「何らかのボランティア活動に参加した」生徒 50%以上 	A	A	<p>生徒たちのいずれの成果目標の項目は高い水準で推移している。「将来の生き方」「学校は社会の役に立とうとする姿勢を育てている」および「進路選択に関する情報」ただし、「みらい探究コース」については、未来への意識づけの難しさは、当然あるべき年齢と判断しています。また、「スポーツコース」については、他者との優劣の現れの競争結果をもとに進路コースの判断がつきやすいと考えます。</p> <p>また、「何らかのボランティアに参加した」の目標値は上回って、全体的に生徒たちが「社会の役に立とうとする」姿勢は大きいものと考え、さらに生徒たちの「ボランティア活動」を活性化するには、なんの「ボランティア活動」をしたいのか、アンケートを取るのも一策と考えます。</p> <p>目標設定の数値を上回っているためA評価とした。ボランティア活動については、活動そのものについて理解と意義、参加場面が周知されているか疑問である。企画に参加することではなく、ちょっとした人助けに関しても</p>

					<p>十分に沿った内容だと考える。</p> <p>卒業したら成人である。待ったなしの年齢に差し掛かっている。この先、より厳しい社会が待ち受けているわけだが、社会の役に立っている自覚は自己肯定感に直結していく。甘えは許されないことを教え支えられる最後の機会かもしれない。ボランティアの受け入れをしている。西高生は良い活動をしてきている。将来につなげていく機会の一助になればよいと思っている。</p> <p>本当に良い成果だと思います。ボランティア活動への参加の向上を期待します。</p>
キ	心身の健康の保持増進と安心して信頼される学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒に対する言葉づかい、呼称、授業のUD化に配慮している教員 100% ・「信頼できる先生がいる」と答える生徒 80%以上 ・「安心して学校生活を送ることができている」と答える生徒 90%以上 ・朝食摂取率 90%以上 	A	A	<p>生徒の学校生活を送る上での心身的な基本姿勢は重要なものと考えます。このような中で、生徒たちをとりまく環境のなか、多くの生徒が安心して学校生活を送ることができていること。さらに、朝食の摂取率も高く、この朝食の摂取は、一日の始まりのバロメーターともいわれていますので、朝食の摂取がいかに大事か今後も引き続き指導をお願いします。このようなことを考察いたしますと、西高生徒の心の豊かさも感じられます。</p> <p>目標設定の数値を上回っているためA評価とした。</p> <p>学校生活を安心してエンジョイしている生徒がほとんど。よい環境になっている。校内が明るく落ち着いている印象がある。不登校もほとんどいないというのは誇るべき学校だと思う。</p>
ク	教職員の資質・能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用した授業実践を試みる教員 90% ・「西高の授業はよくわ 	B	B	<p>多様な学力層の生徒が混在する中で、ICT機器を活用しながら個々に応じた指導は、生徒たちの学力の向上</p>

		<p>かり、満足している」と答える生徒、保護者 80% 以上</p>		<p>につながるものと考えています。さらに、ICT 機器利用は学校生活において重要なものと判断していますので、A 評価につながるような取り組みの継続をお願いします。</p> <p>保護者の求めるものが高いうえですが、生徒さんが良い反応をされているので、これからの向上に期待大。</p> <p>目標設定の数値を上回っているため A 評価とした。</p> <p>不登校の生徒、保健室で体調不良を訴える生徒が少ないと聞いているため、この状態の要因を分析し、継続したい。</p> <p>授業の様子を参観させていただいた。短い時間だったが、私でももっと聞いてみたいと思える授業があった。生徒にも、満足度が高いのではないかと思います。</p>
ケ	<p>情報発信、広報活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭への連絡や情報提供が適切に行われている」と答える保護者 80% 以上 ・HP の更新、X、Instagram への投稿を年間計 150 回以上 ・「一日体験入学、学校説明会参加者に来て良かった」と答える参加者の割合 90% 以上 	A	<p>教職員の指導のもとに前年を上回る、情報発信また、広範囲にわたる広報活動等いろいろな手段で最新情報を共有する仕組みは大変良いと考えます。また、一日体験、学校説明会では、生徒の活躍も高く評価されています。今後も継続の取組の推進をお願いします。</p> <p>本当に良い成果だと思います。</p> <p>目標設定の数値を上回っているため A 評価とした。</p> <p>一日体験を見させていただきましたが、生徒たちからの学校への思いが伝わってきてとても良かった。西高の良さをもっともっとアピールしていくとよいなと思った。</p>

コ	教職員のワークライフバランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務の縮減または業務の効率化 を図ることができた教職員 80%以上 ・夏季休暇取得率 100% ・定時退勤できた教職員 70%以上 	B	B	<p>個々の教職員の皆様の努力によりまして、「時間外勤務の縮減または業務の効率化」は目標に達し、また「夏季休暇の取得率」についても 100%に近い水準に達し、このことは、教職員の社会全体に及ぶ「働き方改革」の意識の向上として大いに評価したいと思います。ただし、定時退勤の目標値は若干下回り、この理由としては、職員の皆様の突発的な生徒の指導が予想され、やむを得ず退勤できない理由があると判断できます。私の評価としましては、A 評価でもよいと考えますが、ぜひとも皆様方で、この課題に向けた取り組みを実施していただき、目標値に達するよう検討していただきたいと思います。</p> <p>これからの期待しています。</p> <p>定時退勤については難しい面がある。日課を含めて考えるべきである。</p> <p>先生方の指導の努力がうかがえます。学校の規模が小さくなることで、個々の先生方への負担は大きくなっているのではないかと思います。健康に留意して頑張ってくださいと思います。仕事への誇りや満足度も指標化すると視点が違うかなと思う。</p>
サ	安心・安全で信頼される学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の事故発生件数 0 件 ・施設に関する事故発生件数 0 件 ・監査等の指示・指摘事項 0 件 	A	A	<p>管理職の皆様の日ごろからの呼びかけが「教職員の事故発生率が 0 件」で、まさに高く評価いたします。そして、「施設に関する事故報告」も 0 件」においても、生徒たちの安全・安心を心掛けている教職員の方々の目配りの高さがうかがえます。そのうえ、監査等の指示、指摘事項が 0 件は大い</p>

様式第5号

					<p>に評価するもので、引き続きこのような状態の維持・継続をお願いするものであります。</p> <p>本当に良い成果だと思えます。</p> <p>目標設定の数値を上回っているためA評価とした。</p> <p>事故も少ないと思えます。ゆとりがないと事故につながるかもです。安心してみていられます。</p>
--	--	--	--	--	---